

科医の不足により結果的に現在も非常勤医師の派遣となっているのが現状です。

市内には開業医が4院あり5人の医師がおられますので、一次医療の面ではある程度対応ができていますと考えてはいますが、今後当病院小児科の充実を図るため、引き続き非常勤医師の派遣要請を行っていきたいと考えています。



地域医療の中核を担う市立大洲病院

米政策改革推進対策

問 米政策改革のための取組について伺いたい。

答

米政策改革推進対策事業は平成16年度から実施していますが、この事業は売れる米作りを基本として、米の生産可能な数量を配分し、水田農家経営の安定と発展を図っていくことを目的としています。

平成17年度の実績は大洲市全体で3千239トンでしたが、平成18年度の目標は3千573トンとなっています。平成19年度から実施される品目横断的経営安定化対策事業等ともあわせて、新しい米政策が展開されることになっており、今後とも関係機関と連携をとりながら大洲市の稲作の振興を図っていききたいと考えています。

河辺地区での山鳥坂ダム建設説明会

問

ダム問題について、今後河辺地区でも十分説明を行い、ダム問題を肱川上・下流域共通の課題として取り組むべきと考えるがどうか。

答

去る3月6日に河辺地区で住民説明会を開催し、山鳥坂ダム工事事務所から説明のあったダム建設に伴う県

道付け替え計画に対する多くの意見や要望をいただきましたが、再構築案の説明後今日まで説明会が開催されていなかったというところで、説明責任の重要性を痛感し、今後ダム事業を円滑に推進するため、事業者の国土交通省とともに、河辺地区でも積極的に説明を行い、伺った意見や要望を事業の中に反映していききたいと考えています。

山鳥坂ダムに関わる環境アセスメント

問

第4回山鳥坂ダム環境検討委員会での協議内容、クマタカ、ヤイロチヨウへの対応、委員の選定方法について伺いたい。

答

この第4回委員会では、環境調査が十分に行われているか、環境保全の関係から生態系にどのような配慮が必要か等について委員の意見が求められ、平成16・17年度の調査結果が説明されました。クマタカについては、平成14年の繁殖シーズン以降確認されていませんが、隣の水系では確認をされていますので、再び事業区域に戻った場合は

適切な対応をされるとされています。

ヤイロチヨウは食性の観点から、生態系の上位性の注目種に該当しないと伺っています。

委員の選定については、事業特性、地域特性をふまえ、最近の科学的知見に基づく技術的助言をいただくことのできる各分野の専門家の中から適切な選定を行っています。

山鳥坂ダム建設中止

問

鹿野川ダム改造並びに河川改修・堤防整備による治水対策を優先するよう国へ要望する考えはないか伺いたい。

答

肱川流域の課題解消に鳥坂ダム建設並びに鹿野川ダム改造の3点セットが、最良の治水対策ではないかと考えています。

河道整備では、上下流の治水バランスを考慮した全川にわたる治水対策工事を行うため、ダムによる洪水調節が必要であると考えています。

清流復活については、正常流量の確保とピーク立って発電

ダム建設予定地付近（肱川町山鳥坂）



の廃止及び貯留制限を行うことによつて、河川水の利用の維持、動植物の保護、流水の清潔の保持に努められることとなっております。

また既存ダムの貯水池の水質保全対策も実施されると聞いています。

山鳥坂ダム建設による肱川流域の環境に及ぼす影響は、現在環境影響評価が順次進められており、今後も流域住民の安全と自然環境に配慮されたものとなるよう国へ要請していきます。